

福島県立南会津病院の概要

平成28年6月2日

1 当院の基本姿勢

(1) 県立病院基本理念

- ・ 親切、信頼、進歩

(2) 当院の基本理念 (H23. 5. 24 改訂)

地域の皆様に信頼され、愛され、親しまれる病院

そのために私たちは

1. 地域の皆様の要望に応え、医療・保健・福祉機関と連携し、総合的な医療を提供します。
2. 南会津地域の唯一の病院として、へき地医療の中心的役割を担います。
3. 救急病院、地域災害医療センターとしての責務を果たします。
4. 良質で安全な医療を提供するとともに、県立病院としての公共性を確保し、健全な病院経営に努めます。

(3) 患者の皆様の権利に関する県立南会津病院宣言 (H18. 5. 31 改訂)

1. 皆様は必要かつ最善の医療を公平に受ける権利を有します。
2. 皆様は診療内容、治療方針とその危険性や副作用などの十分な説明を受ける権利を有します。(ただし、必要に応じて主治医の判断により、ご家族や代理の方にお話する場合があります。)
3. 皆様は診療行為に対し、十分な説明を受けて、ご自身の意思により同意または拒否する権利を有します。
4. 皆様はプライバシーが尊重される権利を有します。
5. 皆様は今受けている検査、処置、治療、食事、看護、他の医療機関への転院、セカンド・オピニオンなどについて、ご自身の希望を述べる権利を有します。

2 医療圏

(1) 南会津医療圏 3町1村(下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町)

(2) 人口

H28. 4. 1 現在の推計人口 26,725人 (県人口の1.4%。H18比で18.0%減)

H27. 4. 1 現在の推計人口 27,323人 ※10年間で5,826人の減少

H26. 4. 1 現在の推計人口 27,872人

H25. 4. 1 現在の推計人口 28,499人

H24. 4. 1 現在の推計人口 29,064人

H23. 4. 1 現在の推計人口 29,571人

H22. 4. 1 現在の推計人口 30,281人

H21. 4. 1 現在の推計人口 30,832人

H20. 4. 1 現在の推計人口 31,422人

H19. 4. 1 現在の推計人口 32,019人

H18. 4. 1 現在の推計人口 32,594人

- (3) 高齢化率
- | | | |
|-------------|-------------------|-----------------------|
| 65歳以上人口の構成比 | <u>未公表</u> | <u>(H28.4.1 現在推計)</u> |
| | 39.2% (県平均 28.2%) | (H27.4.1 現在推計) |
| | 38.3% (県平均 27.4%) | (H26.4.1 現在推計) |
| | 37.6% (県平均 26.6%) | (H25.4.1 現在推計) |
| | 36.9% (県平均 25.6%) | (H24.4.1 現在推計) |
| | 36.7% (県平均 25.0%) | (H23.4.1 現在推計) |
| 75歳以上人口の構成比 | <u>未公表</u> | <u>(H28.4.1 現在推計)</u> |
| | 24.0% (県平均 14.9%) | (H27.4.1 現在推計) |
| | 23.6% (県平均 14.8%) | (H26.4.1 現在推計) |
| | 23.4% (県平均 14.6%) | (H25.4.1 現在推計) |
| | 22.8% (県平均 14.2%) | (H24.4.1 現在推計) |
| | 22.3% (県平均 13.8%) | (H23.4.1 現在推計) |
- (4) 面積 2,341.64km² (県土の17%、神奈川県に匹敵)
尾瀬国立公園、越後三山只見国定公園、大川羽鳥及び只見柳津県立自然公園
森林地帯 約93%
特別豪雪地帯：南会津町のうち旧伊南村、旧南郷村、旧館岩村の区域、只見町、
下郷町、檜枝岐村
豪雪地帯：南会津町のうち旧田島町の区域

3 南会津地域保健医療圏医療機関等 (H27.4.1 現在)

- (1) 病院 1
- (2) 診療所 14：公営 3 (只見町、檜枝岐村、南会津町)
民営 11 (南会津町9、下郷町2) ※特別養護老人ホーム、保健所を除く
- (3) 社会福祉施設
- | | | | |
|--------------|---|------------------|------------|
| (ア) 介護老人福祉施設 | 7 | (南会津町4、下郷町2、只見町) | ※協力病院として協定 |
| (イ) 介護老人保健施設 | 2 | (南会津町、只見町) | |
| (ウ) 訪問看護 | 3 | (南会津町、下郷町、只見町) | |
| (エ) グループホーム | 3 | (南会津町、下郷町、只見町) | |

4 当院の病床数及び診療科等

- (1) 許可病床数 98床 (H25.4.1 変更←H21.3.31 変更 (100床) ←150床)
- (2) 診療科
内科、(神経内科)、(漢方内科)、外科、(産婦人科)、小児科、整形外科、(皮膚科)、
(泌尿器科)、耳鼻咽喉科、(眼科)、(神経精神科)
- (3) 医師数
- | | | |
|----------|---|------------------------|
| (ア) 常勤医 | 12名 | |
| | 内科 (6名)、外科 (2名)、整形外科 (2名)、小児科 (1名)、
耳鼻咽喉科 (1名) | |
| (イ) 非常勤医 | 17名 | |
| | 神経内科 | 1名 (月3回金曜日 会津医療センターより) |
| | 漢方内科 | 1名 (毎週火曜日 会津医療センターより) |
| | 耳鼻咽喉科・外科 | 1名 (随時 あべクリニックより) |
| | | ※ 外科の手術応援 |

産婦人科	2名	(第1・2・4木曜日 会津中央病院より) ※ 3名交代で対応 (第3・5木曜日おのぎレディースクリニックより)
小児科	1名	(毎週木・金曜日 県立医科大学医局より) ※ 2名交代で対応
整形外科	3名	(毎週水曜日、第1・3木曜日、臨時 県立医科大学医局より) ※ 水：1名、第1・3木：1名、臨時：1名 ※ 毎週水曜日の1名は2名交代で対応
耳鼻咽喉科	1名	(毎週火曜日 会津医療センターより)
皮膚科	2名	(第1・3木曜日 たてうまクリニックより) (第2・4・5木曜日 会津医療センターより)
泌尿器科	1名	(第2・4火曜日 東邦大学より)
眼科	2名	(毎週月曜日 塙厚生病院より) (毎週金曜日 竹田綜合病院より) ※ 2名交代で対応
神経精神科	2名	(隔週火曜日 県立矢吹病院より) (4週に1回水曜日 会津医療センターより)
麻酔科	不特定	

(4) 他院への診療応援

只見町朝日診療所へ 整形外科：毎月第1、第3木曜日
竹田綜合病院へ 小児科：毎月第2、第4金曜日
泌尿器科：毎週金曜日、毎月第1、第3土曜日

5 各種研修の受入

(1) 協力型医師臨床研修病院

県立医科大学：平成19年度2年目 2名(各3か月)受入
県立医科大学：平成20年度2年目 2名(各3か月)受入
県立医科大学：平成21年度2年目 1名(1か月)受入
県立医科大学：平成23年度2年目 1名(1か月)受入
県立医科大学：平成25年度2年目 1名(1か月)受入
県立医科大学：平成26年度2年目 2名(延3か月)受入
県立医科大学他：平成27年度2年目 19名(各1か月)受入
県立医科大学他：平成28年度2年目 11名(各1か月)受入(予定)

(2) 医学部学生研修受入

自治医科大学：地域医療実習(5年生)
H21年度1名、H22年度3名、H23年度2名、H24年度3名、
H25年度2名、H26年度3名、H27年度2名、H28年度予定あり
夏期体験実習(1~4年生)
H22年度10名、H25年度11名、H27年度11名
県立医科大学：6年生BSLアドバンスコース
H18年度6名、H19年度6名、H20年度4名
H21年度3名、H22年度4名、H23年度1名

(3) 家庭医研修プログラム受入

県立医大の後期研修プログラム「家庭医療学専門医コース」の研修医受入
(H19.4.1~H20.3.31：1名、H20.5.1~H21.3.31：1名)

(4) その他

母性看護学実習(会津若松看護専門学院)、薬学部学生の病院実習(東北大学薬学部、新潟薬科大学、北陸大学、共立薬科大学、いわき明星大学)、理学療法の実習(東北文化学園大学、江戸川医療専門学校)、養護教員実習(東京福祉大学、國學院大學栃木短期大学)、医療事務の実習(郡山情報ビジネス公務員専門学校)等を受入

6 救急活動

(1) 救急告示病院 (H11.4月～ : H26.4月～3年間)

(2) 体制

医師 : 土・日・祝日の日勤帯2名、全日の夜間1名
看護師 : 土・日・祝日の日勤帯2～3名、全日の長日勤帯・夜勤帯各2名
※H28.1.12～、看護部2交代制勤務試行
放射線技師 : 土・日・祝日の日勤帯1名
医療事務 : 土・日・祝日の日勤帯1名
(ゴールデン・ウィーク及び年末年始は会計も可)
薬剤師 : 日・祝日の日勤帯1名 (H19.7.15より)
臨床検査技師 : 日・祝日の日勤帯1名 (H27.7.5より)

(3) 活動実績

救急車搬送件数	<u>平成27年度</u>	700人
	平成26年度	764人
	平成25年度	789人
	平成24年度	825人
	平成23年度	807人

(参考) 南会津地方広域市町村圏組合消防本部の救急搬送人員

	<u>平成27年</u>	1,496人	(管内搬送は59.6%)
	平成26年	1,528人	(管内搬送は58.0%)
	平成25年	1,619人	(管内搬送は55.0%)
	平成24年	1,634人	(管内搬送は57.0%)
	平成23年	1,522人	(管内搬送は59.5%)

時間外取扱患者数	<u>平成27年度</u>	3,987人
	平成26年度	4,640人
	平成25年度	4,482人
	平成24年度	4,573人
	平成23年度	4,424人

ドクターヘリ・消防防災ヘリの受入れ状況

	<u>平成27年</u>	受入れなし
	平成26年	2回受入
	平成25年	8回受入
	平成24年	12回受入
	平成23年	9回受入

救急医療連携医療機関 会津中央病院・救命救急センター、竹田総合病院、
会津医療センター、(結核、精神科等は特定医療機関と連携)

7 人工透析

(1) 実施体制

月・水・金 : 2クール (1クール目: 9:00～、2クール目: 13:00～)
火・木・土 : 1クール (9:00～)

- (2) 患者数
 当院の実患者数 53名（平成28年4月末現在）
 当院の延べ患者数 559名（平成28年4月）
 （参考） 医療圏域内の患者数（平成20年1月調査） 67名
 （下郷町 22名、檜枝岐村 1名、只見町 4名、南会津町 36名、その他 4名）
- (3) 設備状況
 透析機器 19台
 （平成19年9月に12台で運用開始。増床工事を行い、平成22年4月から7台増設）

8 医療機関・自治体等との連携

- (1) 病院、診療所、各医療関係機関との連携
 (ア) 会津・南会津地域医療連携ネットワークシステムの構築、運用
 (イ) CT・MRI 読影システムを導入し専門医による診断の迅速化（病病連携）
 (ウ) CT、MRI、検体検査の委託受入（地元開業医等）（病診連携）
- (2) 各種健（検）診、機能回復訓練事業、予防接種、健康教室、巡回相談、研修会、献血バス等への職員派遣
- (3) 各種勉強会等の開催：南会津学術セミナー、南会津救急懇話会、院内感染対策勉強会、小児医療相談会などの実施
- (4) 医療相談員の配置：紹介・逆紹介に伴う患者情報の管理と活用・紹介元への返信を医事で一括管理

9 病院機能評価の受審

平成17年度に（財）日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審
 平成18年3月20日認定－Ver.5－ [認定期間：H18.3.20～H23.3.19]
 平成22年度に更新認定のため受審（H22.12.8～10に訪問審査を実施）
 平成23年4月1日認定－Ver.6.0－ [認定期間：H23.3.20～H28.3.19]
 平成27年度に更新認定のため受審（H27.12.7～8に訪問審査を実施）
 平成28年3月4日認定－3rd.G Ver.1.1－ [認定期間：H28.3.20～H33.3.19]

10 経営改善

- (1) 第二次県立病院改革プランにかかる当院の主な取り組み
- 基本方針1 良質な医療サービスの提供
 地域医療連携ネットワークシステムの構築、運用、
 健康診断・人間ドック事業の充実、院内コンサートの開催
- 基本方針2 収益確保と費用削減による健全な病院経営
 透析医療の実施、未収金の発生防止と早期回収の強化
- 基本方針3 医療提供体制の充実強化
 常勤医師及び非常勤医師の確保、研修病院としての役割、
 研修会の開催等による安全対策の強化
- 基本方針4 職員の資質向上と人材育成
 各種研修会への参加や院内教育の充実、職員提案制度の実施

基本方針 5 地域との連携・共生

地域医師会等との懇談会の開催、診療所等への診療応援、
病院広報紙の発行等

(2) 行動指針（毎年度、職員から公募し採用者を表彰）

〔平成 28 年度〕

- 明るい笑顔と元気なあいさつで 地域の皆様を迎えます
- 「もったいない」そこから始まる 経費削減
- これからも“断らない”救急医療を続けよう
- 職員全員 病院の顔である意識を忘れずに
- 聴きましょう、受けとめましょう 患者さん・地域の声を 信頼の第一歩

(3) 職員提案

職員の業務改善意識の醸成のため、毎年 2 月を職員提案月間と定めた。

(4) あいさつ月間

接遇向上ため、平成 22 年度から、毎年 1 1 月をあいさつ月間と定めた。

1.1 表彰歴

平成 27 年 9 月 9 日 救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞